

平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

小田北中 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>全国学力調査の結果から見られる課題</p> <p>(1)各教科の状況</p> <p><国語> 文章の内容を理解しまとめる力、自分の考えや思いを伝える文章力が不足している生徒が多い。</p> <p><数学> 基礎・基本の計算力、論理的に筋道を立てて考える力が不足している。</p> <p>(2)質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に学習意識が低く、家庭学習の時間が全体的に少ない。 ・多くが計画的に学習を進めていない。 	<p>神戸大学・石川慎一郎先生を講師として研修会を実施し、アクティブ・ラーニングの基礎を全員が学ぶ。</p> <p>アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を研究し、授業改善につなげる。</p> <p>学習指導案を作成した授業を全員が公開し、研究協議を行う。</p> <p>授業改善アドバイザーの指導を、日々の授業に活かす。</p>	<p>朝学習の内容を充実させる。</p> <p>「水曜チャレンジ」「土曜チャレンジ」「テスト前チャレンジ」への積極的な参加を呼びかけ、各自の学習習慣につなげさせる。</p> <p>各自の課題取組後、余りの時間を利用して読書力を育成させる。</p> <p>毎週木曜日に「週末課題」を提供し、次週に点検することにより、家庭での学習習慣につなげる。</p> <p>毎週火曜日の放課後に、eライブラリの実施日とし、活用する。</p> <p>連絡帳を効果的に活用する。</p>	<p>他校で行われている研修会や研究会に積極的に参加し、指導技術の向上につなげる。</p> <p>漢字検定や英語検定を校内で実施し、学習意欲の向上に役立てる。</p>	<p>「学校の授業をよく・だいたいわかる」割合を60%以上にする。</p> <p>「学校の授業以外で1時間以上勉強する」割合を55%以上にする。</p>

校種間連携	活用する支援内容	家庭・地域との連携										
<p>入学前テストの結果を検証し、中学校入学後の学習指導に活かす。</p> <p>8月下旬に、小学校・中学校の両教員が合同で研修会を実施する。</p> <p>中学校の教員が小学校へ出向いて授業をする「出前授業」を行う。</p> <p>授業参観日、オープンスクールだけでなく、小学校・中学校相互に授業を参観できる機会を設ける。</p> <p>英語学習において指導連携を図る。</p> <p>小学校児童が中学校入学前に、中学校で部活動体験を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</td> <td>アクティブ・ラーニング研修会の実施 (神戸大学・石川慎一郎教授 3回)</td> </tr> <tr> <td>(2)授業補助支援</td> <td>囃託員による同室複数指導により、効果的な学習指導を行う。</td> </tr> <tr> <td>(3)放課後等学習支援</td> <td>水曜放課後学習 2h×20週 テスト前学習 2h×5回 土曜学習 2h×20週 夏季休業期間学習 2h×8日</td> </tr> <tr> <td>(4)学力定着支援</td> <td>週末課題印刷用紙 課題作成用参考図書</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	具体的内容	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	アクティブ・ラーニング研修会の実施 (神戸大学・石川慎一郎教授 3回)	(2)授業補助支援	囃託員による同室複数指導により、効果的な学習指導を行う。	(3)放課後等学習支援	水曜放課後学習 2h×20週 テスト前学習 2h×5回 土曜学習 2h×20週 夏季休業期間学習 2h×8日	(4)学力定着支援	週末課題印刷用紙 課題作成用参考図書	<p>学校ホームページに、学力向上アクションプランを掲載し、保護者の理解を得る。</p> <p>学校ホームページ、メール配信等を活用し、チャレンジスクールや放課後eライブラリ学習への参加を呼びかける。</p> <p>週末課題を通して、家庭での学習習慣の確立について協力を呼びかける。</p> <p>連絡帳を活用し、家庭との連携を図る。</p> <p>学力調査の結果を公表する。</p> <p>チャレンジスクールの講師の参加を、地域に呼びかける。</p>
支援内容	具体的内容											
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	アクティブ・ラーニング研修会の実施 (神戸大学・石川慎一郎教授 3回)											
(2)授業補助支援	囃託員による同室複数指導により、効果的な学習指導を行う。											
(3)放課後等学習支援	水曜放課後学習 2h×20週 テスト前学習 2h×5回 土曜学習 2h×20週 夏季休業期間学習 2h×8日											
(4)学力定着支援	週末課題印刷用紙 課題作成用参考図書											